

春に向けて準備を始めよう！

昨年は雪解けが遅く、田植え時期が遅くなりました。雪解けとともにすぐ作業が開始できるよう、土づくり・育苗計画など、今から準備を始めましょう。

土づくりは — お・も・て・な・し！ ～田んぼにも日本人の心を～

- ① ・おすすめ資材を
- ② ・もれなく施用と
- ③ ・適度に深くで
- ④ ・納得の
- ⑤ ・しっかり効果！

おすすめ
資材

魚沼ロマンアイアンスター



標準施用量
60～80kg/10a
リン酸：8%
苦土：5%
ケイ酸：12%
鉄：10.5%
腐食酸：8%

魚沼ロマンソイルキーパー



標準施用量
40～60kg/10a
リン酸：8%
苦土：4%
ケイ酸：23%
カリ：4%
腐食酸：3%

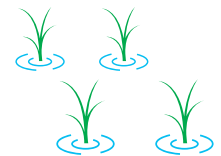
JA北魚沼では、本年も土づくり肥料購入に対し助成を実施する計画です。
積極的な土づくりで全量1等米を目指しましょう。

- ・県の調査では、土づくりをしっかり行ったほ場は猛暑の中でも一定の品質が確保されました。
- ・鉄分は酸素吸収を助け、根を健全化し、ケイ酸は稲体を強く、硬くします。
- ・耕深15cm以上を目標に耕起すると根が深く張り養分の吸収が良くなります。
- ・土づくりは猛暑に打ち勝つ重要な手段です。品質が安定し収入アップです。
- ・土づくりは「一日にしてならず」長い目で取り組みましょう。



適期に適正苗を植えるために計画を立てましょう！

- ・田植え最適期は5月15～20日、苗の適切な葉齢は稚苗で2.2葉です。
- ・適正栽植密度は平場で60株植え、山場で70株植えです。
- ・育苗期間は18～25日と天候により大きく変動します。田植え日、天候をよく考えて播種計画を立てましょう。
- ・苗の老化防止と移植後の活着促進のため、田植え4～5日前に窒素成分で1～2g/箱の弁当肥を行いましょう。 ※軟弱苗、徒長苗に弁当肥を行うと支障をきたす場合があります。



消雪剤を散布し田んぼの雪を早く解かしましょう！

- ・肥料成分入りの融雪剤もありますので、積極的に散布しましょう。



稲作携帯メールサービスの登録で消雪予想をゲット!!

- ・3月1日より10日に一度携帯電話へ小出・守門の消雪予想をお届けします。

【登録専用アドレス】 イナサク
inasaku@ja-kitauonuma.com

登録用 QR コード

